

(1)多様性への理解と規範意識、自己有用感の向上

①決まりを守る気持ちを育てる

あいさつ、人を思いやる言動と自己有用感の向上

質問番号	児童アンケート「できた/概ねできた」の割合	昨	前	後
1	決まりを守る	80	86	90
2	まじめにそうじをしている	86	87	90
3	あいさつをすすんでした	91	91	90
4	思いやりのある言動をした	88	84	87
6	以前の自分よりがんばっている	92	92	92
9	善悪の判断について道徳でしっかり考えた	91	90	91
10	考えを人にうまく伝えられた	79	76	79
12	授業の話合いで考えが深まった	90	88	89
19	学校は楽しい	89	90	90

(1)多様性への理解と規範意識、自己有用感の向上

①決まりを守る気持ちを育てる

あいさつ、人を思いやる言動と自己有用感の向上

【成果と課題】

◎廊下歩行や決まりについての意識は高くなってきた。☞教員の指導 児童会の取組

○児童会の呼びかけや担任の取組でルールについての話し合い

○服装の決まりについて児童や保護者の声を聞きながら柔軟に対応

▲廊下歩行等、教員がいない場面で課題

▲児童会だけでなく、もっと児童からの呼びかけや取組があるといい

【来年度に向けて】

→「協力してよりよい学校・学級をつくろう…」と思う児童が9割

⇒児童主体の取組を活発化(委員会発表・イベント)

→上からの指導ではなく子ども達に考えさせ共に考える姿勢の堅持

→制服について、考えていく機会を増やす

(1) 多様性への理解と規範意識、自己有用感の向上

① 決まりを守る気持ちを育てる

あいさつ、人を思いやる言動と自己有用感の向上

討論の授業(5年)

「制服と私服
それぞれのメリットとデメリット」

【教師からの提案ではなく、
子どもたちに考えてほしい】

廊下歩行を呼びかける児童会自作動画とポスター



(1)多様性への理解と規範意識、自己有用感の向上

①決まりを守る気持ちを育てる

あいさつ、人を思いやる言動と自己有用感の向上

【成果と課題】

◎校門や校内で挨拶をする児童は増えてきた。

▲相手に伝わるような意識の弱さ 家庭や地域で挨拶ができないとの声もある(一部)

◎全校朝会や学級指導をとおして、「言葉」や「行動」についての指導を継続中

▲「優しい言動ができていない」と感じている児童が13% 言動によるトラブルの多さ

◎人権教育部、研修部の取組(心理的安全性を高める取組)

【来年度に向けて】

→児童の委員会活動とリンクした取組

(集会・発表の場づくり、のびのび班活動の取組の推進)

→自尊感情や心理的安全性を高める取組の継続と充実

人権教育、研修、特活、生徒指導の各部が連携した取組の継続